

第 36 回スパズム・シンポジウム世話人会議事録

日 時：令和 2 年 7 月 8 日(水)18:00-18:50

会 場：Web 会議 (Zoom)

出席者：30 名

【報告事項】

1. 第 36 回 (2020 年) 会長挨拶

鈴木 秀謙 先生 (三重大学) より挨拶があった。

第 36 回スパズム・シンポジウムは、一部ライブ配信を含む Web 開催で、2020 年 8 月 23 日 (日) 正午より 9 月 24 日 (木) 正午まで開催。共通テーマは「脳卒中 力をひとつに、新型コロナへも Unity in Diversity」。演題数、収支見直しなど、進捗状況の報告があった。

また、次号「脳血管攣縮 Vol. 36」は例年通り、2 月 (2021 年) 発行予定にて準備中であることも併せて報告がなされた。

2. 事務局報告

事務局代表 菱川 朋人 (岡山大学) より会員状況報告、ならびに会計報告があった。会員数・会費納入率について大幅な減少はなく例年通り推移している。収支についてはここ数年、増加傾向にある。

また、アスト税理士法人 小飯田 浩伸 氏に出席を頂き、税務について状況説明を受けた。2019 年度会計は、学会本体と学術集会を含めて決算、税務申告を行ったことが報告された。

3. 第 35 回 (2019 年) 開催報告

石川 達哉 先生 (秋田県立循環器・脳脊髄センター) より開催報告がなされた。開催内容と予算の面、ともに順調に終了したことが報告された。

4. 世話人退任 新顧問への就任

会則第 5 条に則り、3 名の世話人の先生方が新顧問として承認された。

金丸 憲司先生 (金丸脳脊椎外科クリニック 病院長)

鈴木 倫保先生 (山口大学医学部 名誉教授)

寶金 清博先生 (北海道大学大学院医学研究科 名誉教授)

長年にわたり、会へのご尽力を頂いた顧問 高倉 公朋 先生が、令和元年 5 月 2 日ご逝去された。ご冥福をお祈りします。

5. 第 37 回 (2021 年) 会長挨拶

次期会長 岩渕 聡 先生 (東邦大学医療センター大橋病院) より挨拶があった。

Stroke2021 全体は、2021 年 3 月 11 日 (木)、12 日 (金)、13 日 (土) 福岡にて開催予定。共通テーマは「脳卒中制覇 ～さらなる頂きへ～」。スパズム・シンポジウムのサブテーマは「スパズムと末梢循環」。

例年通り、1 日目 3 月 11 日 (木) をスパズム・シンポジウムにあてる。

Web 開催 (併催) も含め準備中であることが報告された。

6. 第 38 回 (2022 年) 会長挨拶

次々期会長 森岡 基浩 先生(久留米大学)より挨拶があった。

Stroke2022 は、2022 年 3 月 17 日 (木)、18 日 (金)、19 日 (土)、大阪で開催予定。共通テーマは「明日へのシナリオ」。

7. 第 11 回優秀論文賞表彰

第 11 回優秀論文賞の選考委員、受賞論文の報告が行われた。

【基礎研究部門】は、麓 敏雄 (ふもと としお) 先生 (弘前大学)、

【臨床研究部門】は、金丸 英樹 (かなまる ひでき) 先生 (三重大学) に決定した。

通常開催の場合は「事務局報告会」において表彰式が行われてきたが、STROKE2020 では、事務局報告会は会期中にオンデマンド配信されることとなった。

代表世話人 伊達 勲より、優秀論文賞の受賞者氏名および受賞論文名を発表 (表彰式は行わない)、表彰状および副賞は受賞者宛てに事務局より送付予定であることが報告された。

8. 将来構想委員会 メンバーの交替の件

会則第 7 条に基づき、以下 5 名が 2020 年度のメンバーとして賛同を得、決定した。

- ・前期会長 : 鈴木 秀謙 先生
- ・今期会長 : 岩渕 聡 先生
- ・次期会長 : 森岡 基浩 先生
- ・選出メンバー : 大熊 洋揮 先生
- ・代表世話人 : 伊達 勲

9. その他 該当なし

【審議事項】

1. 新世話人選出

鈴木 秀謙 先生より、長谷川 雄 (はせがわ ゆう) 先生 (国際医療福祉大学福岡薬学部薬学科 教授) の推薦があった。推薦状、履歴書、業績を会議内資料として提示。新世話人として承認された。

2. 第 39 回 (2023 年) 会長選考

事務局代表 伊達 勲より、第 39 回会長について、例年どおり事前に将来構想委員会メンバーにて協議した結果、間瀬 光人 先生 (名古屋市立大学大学院医学研究科 教授) を推薦することを報告、本会にて承認された。

3. 「スマート कांग्रेस 2022 構想」

宮本 享 先生より事前配布資料に基づき説明がなされた。
スパズム・シンポジウムにおいても同構想が承認された。

4. その他

塩川 芳昭 先生より、日本脳神経外科学会保険診療委員会委員長として資料提供と説明があった（診療報酬審査上の課題への対応方針（案））。

特に「エリル」を用いた脳血管攣縮の治療についての問題提起がなされた。

以上